

「関西ワールドマスタースゲームズ2021」の本県開催について

1. 関西ワールドマスタースゲームズ2021の開催目的

- ・生涯スポーツの振興と元気で活力ある高齢社会の実現
- ・スポーツツーリズムを通じた地域の活性化
- ・「はなやか関西」の世界への発信

2. 本県での開催について

(1) 開催の意義

- ・「する・みる・支える」の視点から県民の関心や意欲の高まりによる生涯スポーツの振興。
○中高年の参加選手の競技に取り組む姿を、間近でみることで、自らスポーツに取り組もうとする関心の高まり。
○大会の運営等に、ボランティアとして参画する機会になり、国体の運営につながる。
- ・スポーツと文化の力、交通と観光の力を生かしたスポーツツーリズムを通じた滋賀の活性化。
- ・滋賀の歴史・文化・自然などの多様な魅力の国内外へのアピール。

(2) 取組の方針

- ・関西ワールドマスタースゲームズ2021を本県で開催することとし、組織委員会へ参画して、滋賀県開催が実のあるものとなるよう取り組む。
- ・本県で開催する競技種目については、会場地選定基準の検討等を踏まえ、現時点で市町、競技団体の意向がマッチングしている競技種目を中心に今後検討を加えていく。概ね5～6種目程度の開催を目指す。

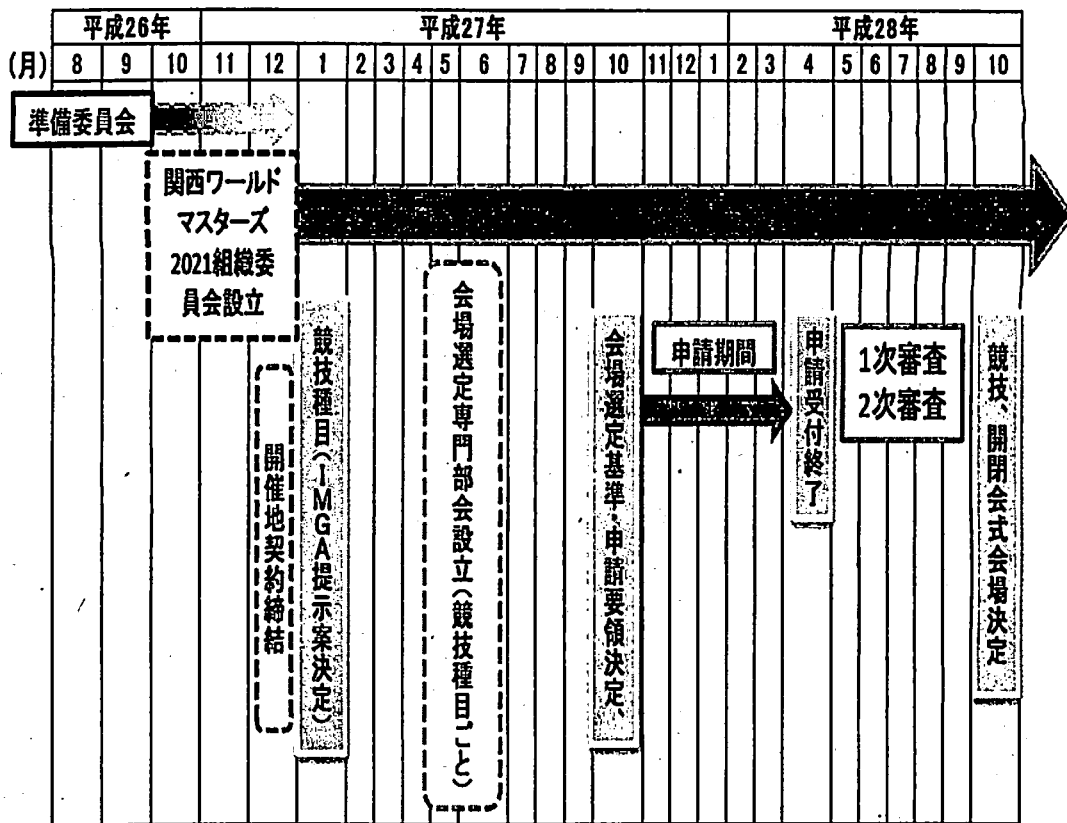
(参考) 本県の開催府県市の人口割(大阪府市を除く)

$$10.6\% (141.1 \div 1,335.3 \text{万人}) \quad 56 \times 10.6\% = 5.94 \text{ (種目)}$$

4. 競技種目および会場決定手順（案）・組織委員会の設置方針（案）
について

・意見照会内容は、別紙のとおり。

5. 今後のスケジュール（準備委員会事務局案）



平成26年7月24日
関西WMG2021事務局

I 競技種目及び会場の決定手順（案）について

競技種目については、会場決定の前にIMGAの承認が必要なため、再度関係各方面の意見を幅広く聴いて、2015年早々にもIMGAに提示する競技種目(案)を決定していく。

会場については、2017年4月に開幕するオークランド大会において、効果的なPR活動を実施するため、遅くとも、2016年10月までに競技会場の決定をめざす。

1 競技種目選定基準

現在、次の基準に基づき、競技種目(案)として、29競技（コア競技16、オプション競技13）を選定している。

- ① 過去のワールドマスターズゲームズでの開催実績
- ② 海外とアジアにおけるマスターズ関連スポーツ大会の開催実績
- ③ 国内と関西圏におけるマスターズ関連スポーツ大会の開催実績
- ④ 国内での一般成人・中高年の実施人口と競技団体への登録者数
- ⑤ 競技種目の開催が可能な関西圏内の会場・エリアの存在と大会開催実績
- ⑥ 日本開催・関西らしさをPRできる競技種目

2 競技種目（案）

別紙のとおり。

3 今後の競技種目及び会場決定手順

(1) 競技種目の決定手順

- ① 準備委員会幹事会(7.15)で選定基準等を示し、各府県市を通じて幅広い意見を聴くために各府県市・議会及び市町村への説明等を依頼。
- ② 準備委員会等で選定基準等を示し、意見を聴き、各府県市等の意見と併せて9月上旬までに集約し、必要に応じて競技種目(案)等を修正する。
- ③ 修正後の競技種目(案)を再度、準備委員会(幹事会)等に提示し、必要に応じて再修正する。
- ④ 組織委員会(10月中旬～翌1月中旬)でIMGA提示(案)を決定し、その後、IMGAと詳細協議を開始する。

(2) 会場の決定プロセス

- ① 会場については、各府県市からの手挙げ方式により選定する。
- ② 2015年の早い時期に会場選定のための専門部会を立ち上げる。
- ③ 専門部会において、競技会場の選定基準及び申請要領を作成し、各府県市から希望を募り、選定作業を経て、2016年10月を目途に組織委員会で決定する。

競技名	種目	開催回数	参加人数	開催状況	備考
1 アーチェリー	フィールド	6回	197人	バンパシフィックマスターズ、欧州マスターズゲームズ	全日本アーチェリー連盟(約12,700人登録)
	ターゲット				
2 陸上競技	トラック&フィールド、10k、ロードレース、競歩(10&20km)、ハーフマラソン、クロスカンントリー	8回(全大会)	1,991人	バンパシフィックマスターズ、欧州マスターズゲームズ、北米マスターズゲームズ 他 世界・アジア・日本全国レベルでマスターズ大会多数開催	和歌山はマスターズ陸上競技の発祥地。全国大会や国際ゴールドマスターズ大会等を開催
	マラソン			全日本マスターズマラソン選手権等	世界的、国民的人気の高い競技。各国・各府県市に多数の市民ランナーあり。
	駅伝			都道府県対抗全日本マスターズ駅伝大会等	京都は駅伝の発祥地、高校駅伝のメッカ。各地で大会が開催。マラソンと同様、多数の参加者が見込め、関西大会オリジナルとしてPRが期待できる。
3 バドミントン		8回(全大会)	352人	バンパシフィックマスターズ、欧州マスターズゲームズ、北米マスターズゲームズ、日本スポーツマスターズ2013北九州大会(391人)	日本バドミントン協会(約59,000人登録)
4 バスケットボール		8回(全大会)	1,021人	バンパシフィックマスターズ、欧州マスターズゲームズ、北米マスターズゲームズ、日本スポーツマスターズ2013北九州大会(1,008人)	日本バスケットボール協会(約9,000人登録)
5 カヌー/カヤック	マラソン、スラローム	7回	697人	バンパシフィックマスターズ、欧州マスターズゲームズ、北米マスターズゲームズ	日本カヌー連盟(約5,000人登録)
	スプリント				
	ドラゴンボート			関西地域でも世界大会を含めた各種大会が開催	中国が起源。世界ドラゴンボート連盟(68ヶ国加盟)、日本ドラゴンボート協会(約1,500人登録)
6 自転車競技	マウンテンバイク	8回(全大会)	504人	バンパシフィックマスターズ、欧州マスターズゲームズ、北米マスターズゲームズ	日本マウンテンバイク協会(約1,500人登録)、日本自転車競技連盟(約3,800人登録)
	トラック、ロードレース				
7 フィールドホッケー		4回	315人	国内外で各種マスターズ大会が開催	日本ホッケー協会(約1万人登録)
8 サッカー	サッカー	8回(全大会)	1,890人	第1回全国シニアサッカー大会(40歳以上)がJ-GREEN場で開催	日本サッカー協会(約14万5,000人登録)
	フットサル			バンパシフィックマスターズ、国内外各地でシニアフットサル大会開催	日本フットサル連盟(約5万人登録)、競技人口も増加。アジア・オセアニア・太平洋地域からの出場者が見込め、競技人口の多い中南米諸国からの出場も期待
9 オリエンテーリング		8回(全大会)	2,514人	欧州マスターズゲームズ	ヨーロッパ諸国を中心に競技人口が多い。日本オリエンテーリング協会(約700人登録)
10 ボート		8回(全大会)	1,061人	全日本マスターズレガッタ(約380人)	日本ボート連盟(約9,000人登録)
11 射撃	ライフル、ピストル	8回(全大会)	198人	バンパシフィックマスターズ	日本ライフル射撃協会(約7,000人登録)。金沢市に日本マスターズライフル射撃連合があり、アジア大会や全国大会を開催
	クレー				日本クレー射撃協会(約2,400人登録)
12 ソフトボール		7回	816人	シニア(58歳以上)・古希(70歳以上)ソフトボール大会(約1,500人)	日本ソフトボール協会(約10万1,000人登録)
13 スカッシュ		8回(全大会)	128人	バンパシフィックマスターズ、欧州マスターズゲームズ、北米マスターズゲームズ、スカッシュマスターズカーニバル等	日本スカッシュ協会(約1,600人登録)
14 卓球		7回	159人	全日本卓球選手権大会マスターズの部(約1,500人)	日本卓球協会(約72,000人登録)
15 トライアスロン	トライアスロン	7回	389人		日本トライアスロン連合(約3万人登録)
	デュアスロン	3回		日本デュアスロン大会が開催され、各自治体でも開催数増加	
	アクアスロン			アクアスロン世界選手権が開催され、参加規模も拡大。関西2府5県全てで地域レベルの大会開催	
16 ウェイトリフティング		8回(全大会)	576人	全日本マスターズ選手権大会(210人)	日本ウェイトリフティング協会(約900人登録)

は過去WMG未実施競技種目

■ オプション競技種目(案)の選定資料

競技名	種目	過去開催回数	参加人数	国内主要大会での開催状況等	備考	
1 野球	硬式野球	4回	35人	パンパシフィックマスターズ、北米マスターズゲームズ	日本では社会人野球や元プロ野球選手、全国高校野球OBクラブ連合で硬式野球の登録者多数	
	軟式野球			全日本返扇軟式野球大会(約1,200人登録)、日本スポーツマスターズ2013北九州大会(624人)		日本発祥の種目で、アジア返扇軟式野球連盟に26ヶ国加盟 全日本軟式野球連盟(約60万人登録)
2 ボウリング 10pin		3回	(エドモントン大会約1,500人)	パンパシフィックマスターズ、北米マスターズゲームズ 全日本シニアボウリング選手権大会(50才以上の部:約600人)	全日本ボウリング協会(約12,000人登録)	
	競技ダンス			パンパシフィックマスターズ、北米マスターズゲームズ	日本のダンススポーツ推計人口約400万人。日本ダンススポーツ連盟(約2万人登録) 中高年層を中心に各地で大会が開催。	
	エアロビクス			北米やオセアニア諸国を中心に全国レベルや地方レベルでもマスターズ大会が開催。全国エアロビクスマスターズフェスティバル毎年開催。	日本エアロビクス連盟(約2,500人登録)	
4 ゴルフ	ゴルフ	7回	283人	シニア大会は全国各地で開催	日本ゴルフ協会(約5,000人登録)、日本の推計実施人口約93万人	
	クラシックゴルフ			国立競技場で協会創立30周年記念国際交流親善大会が開催され、海外における普及振興を目的に国際交流事業も行われている。	鳥取県東伯郡泊村(現・湯梨浜町)が発祥の地。アジア諸国にも普及 日本グラウンドゴルフ協会(約19万人登録)	
5 ハンドボール		1回		パンパシフィックマスターズ、欧州マスターズゲームズ 全日本マスターズハンドボール大会(約15,000人)	日本ハンドボール協会(約1万人登録)	
6 柔道		2回	146人	パンパシフィックマスターズ 2013年アジアグラウンドマスターズオープン大会(精進館:740人)	全日本柔道連盟(約15万人登録)	
7 空手		1回	206人	欧州マスターズゲームズ公式競技、日本スポーツマスターズ2013北九州大会(542人)	全日本空手道連盟(約8万人登録)	
8 ラグビー		8回 (全大会)	247人	パンパシフィックマスターズ、不惑クラブ・ラグビーフットボール交流大会(約800人)	日本ラグビーフットボール協会(約34,000人登録)、中高年ラグーマン増加	
9 セーリング	ヨット	3回	52人	パンパシフィックマスターズ、欧州・北米マスターズゲームズ	日本セーリング連盟(約7,000人登録)	
	ウィンドサーフィン	1回		「ザ・マスターズ」(40歳以上:毎年約100人)、関西圏内での大会開催実績と会場多数	日本セーリング連盟の加盟団体として日本ウィンドサーフィン連盟に約800人登録	
10 水泳	競泳	8回 (全大会)	801人	日本国内だけでも、年間約90の公認大会あり。 2013国際ゴールドマスターズ京都大会等(国際ゴールドマスターズ協会主催)	(過去のWMG 3回は、約2,000人弱)	
	飛び込み	6回		欧州マスターズゲームズ	(過去のWMG 平均80人)	
	水球	3回		パンパシフィックマスターズ	日本マスターズ水泳協会(約47,000人登録)	(過去のWMG 平均250人)
	シンクロナイズドスイミング	2回		各種マスターズ大会あり。		(過去のWMG 123人、180人)
	オープンウォーター	3回		国際マスターズオープンウォータースイムレース(日本国際オープンウォータースイミング協会主催)		(2005年エドモントン大会 300人)
11 テニス	硬式テニス	7回	259人	パンパシフィックマスターズ、欧州・北米マスターズゲームズ 日本スポーツマスターズ2013北九州大会(342人)	日本テニス協会(約11,000人登録)	
	ソフトテニス			国内外の各種マスターズ大会、東欧を中心にトーナメントも多数開催	日本発祥で世界ソフトテニス連盟に38ヶ国加盟。ヨーロッパソフトテニス連盟設立。西アジアを除くほぼアジア全域に普及。日本ソフトテニス連盟(約5万人登録)	
(2) 綱引				全都道府県出場の全日本綱引選手権大会(毎年開催)、アジア大会もあり。	日本の競技人口推定6万人。日本綱引連盟(約2,000人登録)	
13 バレーボール	インドア	8回 (全大会)	1,315人	満50歳以上限定の「いそじ大会」、60歳以上限定の「ことぶき大会」あり。	日本バレーボール協会(約8万人登録)、全国ママさんバレーボール連盟(約4万人登録)	
	ビーチ	2回	424人	パンパシフィックマスターズ、関西圏での大会実績多数	日本ビーチバレー連盟(約1,000人登録)	

※(2) 綱引は過去WMG未実施競技種目

II 組織委員会の設置方針（案）について

【基本的な考え方】

2021年の大会開催を成功に導くため、一般財団法人として設立する組織委員会が担う役割を次の3つに大別し、それぞれ期待する役割を発揮するために必要な機関を設置する。

- 1 大会開催を支援する機関（顧問、参与、議員団、応援大使等）
- 2 大会運営を担う機関（常任委員会（仮称））
- 3 法人運営を担う機関（法定必置の3機関：評議員会、理事会、監事）

1 大会開催を支援する機関

（1）設置目的

大会開催に向けた事前の気運醸成と大会開催の成功に向け、皇室や政界、経済界などの各界各層から、各人の属性や立場に応じた幅広い支援を得る。

なお、人選に際しては、地元関西にこだわらず、全国的な知名度や影響力などを踏まえて、幅広く選出することとする。

（2）設置する機関と期待する役割

- 名誉総裁…皇室関係者にご就任を仰ぎ、各国からの参加者を得る国際総合競技大会に相応しく、開催国、日本を内外に代表していただく
- 名誉会長…組織委員会の名誉職に相応しい方に就任を依頼
- 顧問・参与…スポーツ関係団体等の代表者が就任し、大会を支援
- 国会議員団…国会議員による大規模な応援組織を結成し、大会開催を支援
- 地方議員団…関西広域連合議員が中心となり大会開催を支援
- スペシャルアドバイザー…アスリートネットワークの理事等を中心に、大会のPRや競技実施等で支援
- 応援大使…タレントを中心に、その高い知名度と情報発信力を通じて大会をPR

2 大会運営を担う機関

(1) 設置目的

大会主催者や学識経験者、競技運営の専門家など、大会運営上のコアとなる団体の代表者等で構成し、大会に関する重要事項を協議・決定し、推進する。

(2) 設置する機関と期待する役割

- 会 長… 組織委員会を代表する
- 副 会 長… 会長を補佐する
- 事 務 総 長… 組織委員会の事務を総括する
- 常任委員会… 大会開催を成功に導くため、準備や実施に関する重要な事項を協議等行う場として、常任委員会を設置する。

現行の準備委員会のメンバーに加えて、大会参加者の輸送やツーリズム対応、海外からの参加者の円滑な受入等を視野に、関係省庁や関係団体等の参画を得る。常任委員会には、会長、副会長、事務総長も参画する。

3 財団運営を担う機関

(1) 設置目的

一般財団法人として法定必置の3機関を設置し、組織委員会を運営する。

(2) 設置する機関

- ① 評議員会（3名以上、任期4年）
- ② 理事会（代表理事1名、理事2名以上、任期2年）
- ③ 監事（1名以上、任期4年）

県内競技団体・市町の意向

1 競技団体

回答内容	競技団体
是非実施したい(6)	オリエンテーリング、カヌー、水泳、 トライアスロン、ドラゴンボート、ボート
実施してもよい(5)	ソフトテニス、ソフトボール、テニス、 ラグビーフットボール、陸上競技(ロードレース)
詳細を聞いて検討したい(3)	サッカー、セーリング、卓球

2 市町の意向

回答内容	市町
是非実施したい(4)	大津市、彦根市、守山市、東近江市
実施してもよい(1)	長浜市
詳細を聞いて検討したい(5)	草津市、栗東市、高島市、日野町、愛荘町

3 経済波及効果の試算

	参加人数	開催日数	経済波及効果
カヌー	300	4	2,800~5,700万
ドラゴンボート	1700	4	1億6,600~3億3,200万
ボート	1800	5	2億2,300~4億4,600万
ソフトテニス	430	9	8,300~1億6,600万
ソフトボール	2500	8	4億6,000~9億1,800万
陸上(ロードレース)	900	2	4,900~9,700万
サッカー	3500	6	5億600~10億1,100万
セーリング	300	4	2,700~5,400万
テニス	1100	9	2億2,800~4億5,600万
卓球	1200	5	1億1,600~2億8,400万